

あまさぽだより

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター



第7号

令和8年1月

目 次

○「あまさぽだより」第7号発行にあたり・・・・・・・・・・・・・・・・	2
海部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会 会長 羽賀 達也	
○「あまさぽ」の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
○「あまさぽ」の主な取り組みについて ・・・・・・・・	3、4
I 令和6年度 出張教室・研修会〔令和7年1月～3月〕・・・・・・・・	5～7
II 令和7年度	
1. 研修会〔令和7年4月～12月〕・・・・・・・・	8
2. 講演会〔令和7年4月～12月〕・・・・・・・・	9
3. 出張教室〔令和7年4月～12月〕・・・・・・・・	10
4. 地域行事参加〔令和7年4月～12月〕・・・・・・・・	11
5. 相談対応件数〔令和7年4月～12月〕・・・・・・・・	12
III 今後の予定〔令和8年1月～3月〕・・・・・・・・	13

○「あまさぼだより」第7号発行にあたり

平素より海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）事業にご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。当センターは海部医療圏の行政、三師会、訪問看護事業所、介護事業所、地域包括支援センターなど他職種の連携を取りやすくし、地域包括ケアのシステム整備とバックアップを推進しております。

在宅医療・介護での最大の問題は物価高騰、職員の賃上げと人手不足です。他の業種、特に大企業が派手に賃上げを行っている現況では政府に相当強い医療・介護への経済対策を行っていただかなければ、賃上げと人手不足の解消は困難です。高市総理大臣は医療介護を守ると繰り返し述べられています。

その言葉が実現されることを期待しつつ、医療や介護を必要とする地域のみなさまが住み慣れた家や地域で自分らしい充実した人生を末永く続けることができるように活動してまいりたいと存じます。今後ともご支援ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

海部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会
会長 羽賀 達也

○「あまさぼ」の概要

名 称 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（通称：あまさぼ）
構成団体 海部医療圏内の7市町村
（津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村）
設 立 平成30年4月1日
設置場所 津島市役所 神守支所内（住所：津島市神守町字五反田2番地）
職 員 5名（現体制：保健師1名、看護師1名、事務職3名）

【あまさぼ基本理念】

多職種が連携して支える安心な広域のまちづくり

～地域の人々がいつまでも健やかに心豊かに暮らせるために～

【海部医療圏地域包括ケアサミット共同宣言文】（平成31年2月）

1. だれもが当事者、みんなでつくろう住みよい地域

～みつけよう、自分にできること～

2. 多職種連携で支える安心なまちづくり

○「あまさぼ」の主な取り組みについて

あまさぼは、医師会、歯科医師会、薬剤師会をはじめ各職種会のご協力のもと、7市町村が協働して医療・介護に携わる多職種による連携体制の構築を目指す役割を担っています。

市町村等の各種会議等に参加するとともに、あまさぼの各種会議、ワーキンググループにおいて、地域の実情把握、課題の発掘、情報共有を図り、多職種での課題解決に向けた取り組みを行っています。

また、在宅医療・介護連携に関する各種相談の対応、医療・介護関係者に向けた研修会の開催、地域住民に向けた講演会などによる普及啓発活動を行っています。

以下に、令和7年1月から令和7年12月までの主な取り組みについて報告します。

○訪問歯科診療実態調査

海部・津島市両歯科医師会のご協力を得て、令和6年1年間の訪問歯科診療の実施日数、訪問患者数等の実態調査を実施しました。

令和6年1年間に訪問歯科診療を実施した歯科医院は55医院で、ご回答いただいた歯科医院の69%、全歯科医院の50%という状況でした。前回令和2年の調査時は40医院で、ご回答いただいた歯科医院の57%、全歯科医院の37%でしたので、訪問診療をされる先生は多くなっています。

また、昨年度の介護報酬改訂で新設された口腔連携強化加算について、介護事業所と連携に関する文書を締結している医院は、令和7年8月1日現在11医院で、ご回答いただいた歯科医院の14%、訪問診療を実施している医院の20%と、まだ少ない状況でした。

○長期休暇時の在宅看取りの当番体制

在宅医療を推進するうえで必要な訪問診療を実施している医師を支援する取り組みである長期休暇時（年末年始、ゴールデンウィーク）における在宅看取りの当番体制について、津島市医師会においては以前から実施しており、海部医師会においては、医師を中心とするワーキンググループで検討を重ね、令和6年度の年末年始からテスト運用を開始しています。

両医師会とも、令和7年度もゴールデンウィークと年末年始に当番体制を計画し、ご協力いただける先生方で当番表を作成して準備しましたが、対象患者の関係から当番実施には至りませんでした。

今後も、訪問診療を実施している医師の負担軽減を図る一つの方策として、実施に向けて進めていきます。

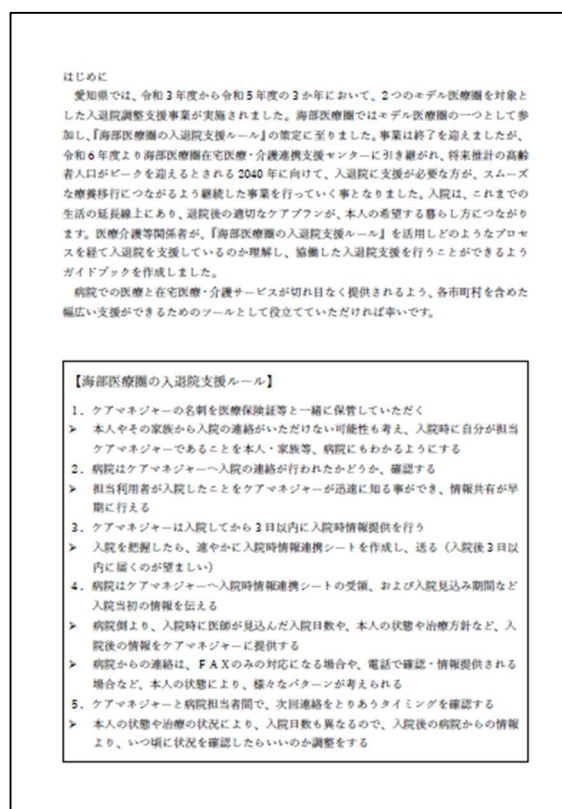
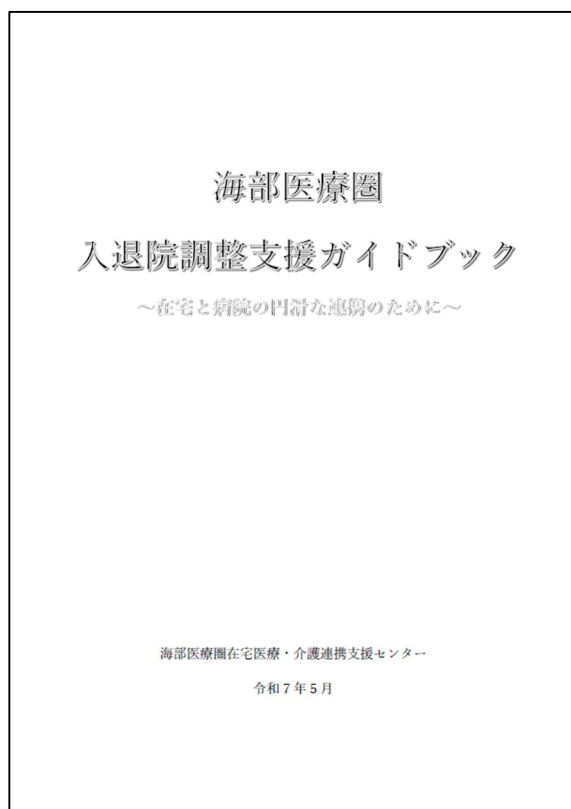
○入退院調整支援事業

愛知県のモデル事業として令和3年度より3年間実施してきた入退院調整支援事業については、令和6年4月からあまさぼの事業として新たなワーキンググループを立ち上げ、運用ルールの実施と課題の把握、入退院調整支援ガイドブックの作成、ルール実施後の評価について検討を進めてきました。

入退院調整支援ワーキンググループにて検討、作成した入退院調整支援ガイドブックには、入退院支援ルールとフローチャートを記載し、関係機関一覧として7市町村の地域包括支援センターの担当区域などの情報、医療圏内11病院の地域連携部門の連絡先や病院機能、特記事項などの情報を記載しており、誰でも参照、ダウンロードできるように、令和7年5月末にあまさぼのホームページに掲載しました。

入退院支援ルールの運用実施後の評価については、居宅介護支援事業所のケアマネジャー206名、病院の相談員・看護師55名にご回答いただき、全体としては大きな問題なく運用されていることを確認しました。

また、新規入院のルールだけでなく、転院時のルールも必要とのご意見を受け、令和7年7月からワーキンググループの中に、医療圏内11病院の代表と居宅介護支援事業所のケアマネジャーの代表数名で構成する部会を設置して転院ルールの検討を開始しました。



I 令和6年度 出張教室・研修会〔令和7年1月～3月〕

○緩和ケア多職種連携研修会

日 時：令和7年3月6日（木） 18：30～20：00

場 所：海南病院 教育研修棟 講堂1 + Zoomによるハイブリッド開催

テーマ：「がん末期患者の本人・家族のケアについて」

講 師：JA愛知厚生連海南病院 老年内科代表部長 野々垣 禪 先生

「終末期の症状理解とACPを通じて行う本人・家族のがん支援について」

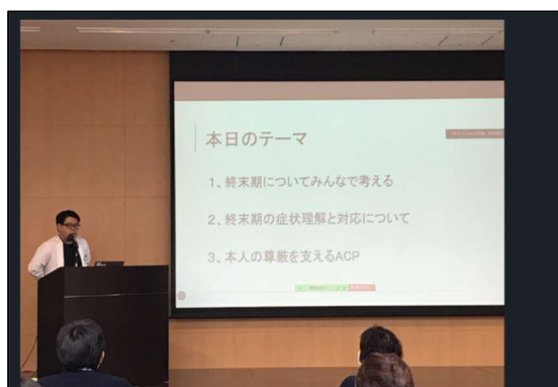
JA愛知厚生連海南病院 臨床心理士/公認心理師 中島 英貴 先生

「終末期患者の家族ケア」

共 催：JA愛知厚生連海南病院

津島市民病院

参加者：104名



令和6年度 緩和ケア多職種連携研修会
「がん末期患者の本人・家族のケアについて」


目的：生命を脅かす病気をかかえた方が、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるためには、緩和ケアの知識が必要です。地域の中での緩和のあり方を海部医療圏の医療・介護関係者の皆様と一緒に学んでいきましょう。

日 時
令和7年3月6日（木）18時30分～20時

講 師
野々垣 禪 先生 JA愛知厚生連海南病院 老年内科代表部長
『終末期の症状理解とACPを通じて行う
本人・家族のがん支援について』
中島 英貴 先生 JA愛知厚生連海南病院 臨床心理士/公認心理師
『終末期患者の家族ケア』

開催方法 参集（会場：海南病院 教育研修棟3階 講堂1）
及びZoomによるハイブリッド開催

対象者 海部医療圏の医療・介護関係者

申し込み 【URL】<https://forms.gle/43U4QRpAUmhMpXY58>
または
【二次元コード】
【申し込み期限：2月25日（火）】
申し込み後、受付完了メールが届かない場合はあまさばへお問い合わせください

共催 JA愛知厚生連海南病院、津島市民病院
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさば）
問い合わせ先：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさば）
電話番号：0567-58-5989
Eメール：amc.sp@clovernet.ne.jp

研修会では「がん末期患者の本人・家族のケアについて」というテーマで本人・家族双方の身体、精神のケアについて海南病院 野々垣先生、中島先生よりご講演いただきました。終末期においては、患者本人だけではなく、家族もケアの対象であり、事例を通して「寄り添うことの大切さ」を学ぶことができました。

研修後のアンケートから、多職種での連携にはまだ課題があることがわかり、研修会が今後のためになったというご感想、今後聞いてみたい様々なテーマのご意見をいただきました。

○難病患者の在宅療養支援に関する研修会

日 時：令和7年3月18日（火）13：30～15：00

場 所：津島市民病院 講義室

講 師：千葉在宅クリニック院長、津島市民病院代務医 山名 知子 先生
「病院診療と訪問診療を経験して」

共 催：津島市民病院

講演後、参加者によるグループワーク実施

参加者：29名



令和6年度
難病患者の在宅療養支援に関する研修会

講 師 山名 知子 先生
参加費 無料

千葉在宅クリニック院長（津島市民病院代務医）
「病院診療と訪問診療を経験して」
※講演後グループワークを予定しております

日 時 令和7年3月18日（火）13時30分～15時

会 場 津島市民病院2階講義室（津島市横町3丁目73番地）

対象者 海部医療圏の医療・介護関係者

申込み 【URL】または【二次元コード】
<https://forms.gle/jkrYsNfPX8KczZTdA>

【申込み期限：3月7日（金）】
申込み後、受付完了メールが届かない場合はあまさばへお問い合わせください

問合せ先：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさば）
TEL：0567-68-5989 Eメール：amc.sp@clovernet.ne.jp

共 催：津島市民病院
（愛知県難病診療ネットワーク尾張ブロック協力病院）
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさば）

地域で活動する在宅支援者と病院とをつなぎ医療・介護関係者相互に理解を深めることを目的に、難病患者の在宅療養支援に関する研修を企画しました。

千葉在宅クリニック山名院長より、総合病院と在宅診療クリニック双方に携わられたご自身の経験をもとに、病院機能や意思決定支援における考え方の違いを比較しながら、多角的な視点から療養者を取り巻く支援の多様さや、そのうえで医療・介護連携の重要性についてお話いただきました。グループワークにおいては事例を持ち寄り話し合うことで、それぞれの立場を超えて、自分と同じように悩みながらも支援に携わる仲間と共有・共感できたことは、参加した皆さんにとっても有意義な機会となったようです。必ずしも思い通りにならない難病支援の難しさの中で、参加した皆さんにとって少しでも気づきを得る機会でありましたら幸いです。

○出張教室

愛西市

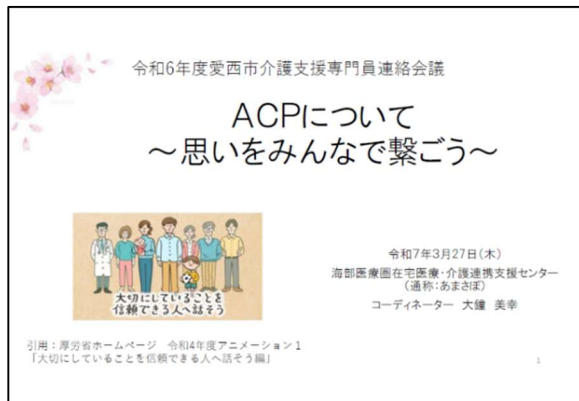
日 時：令和7年3月27日（木） 13：30～14：00

場 所：愛西市役所 南館 会議室

講 座：「ACPについて ～思いをみんなで繋ごう～」

対 象：愛西市介護支援専門員

参加者：36名



誰にでも死は訪れますが、“どのような最期を迎えるのか”を考える事は自分の人生を生ききることに繋がります。医療・ケアを受ける本人が、人生の最終段階を見据えて事前に医療・介護の多専門職とACP（人生会議）を行うことで、もしもの時に思いが叶えられるようACPの普及啓発を図っています。アンケートでは、「今後、ACPを利用者に勧めたいと思いますか」について「そう思う・ややそう思う」と回答された方が27人（93%）でした。ご意見では、「どのタイミングで行うかがむずかしいと思いました」「本人と家族の意見が違う時はどうなるのか」などがあり、1人ひとりの状況の違いに合わせて本人の思いの変化に寄り添う事の困難さが伺えました。

Ⅱ-1. 令和7年度 研修会〔令和7年4月～12月〕

○海部医療圏在宅医療・介護関係者研修会

日 時：令和7年12月6日（土）14：00～15：30

場 所：Zoomによるオンライン

テーマ：「在宅の管理栄養士はどこにいる？何をする？

～居宅療養管理指導の流れから考える～

講 師：津島市健康推進課 主任管理栄養士 佐藤 知子 先生

参加者：50名

本日の流れ

1. 在宅訪問をする管理栄養士はどこにいる
2. どんな人が対象になる
3. 管理栄養士は何をする
4. 在宅高齢者の栄養状況
5. 質疑

令和7年度 海部医療圏在宅医療・介護関係者研修会 **参加無料**

在宅医療・介護
食支援の視点を

**在宅の管理栄養士は
どこにいる？何をする？**
～居宅療養管理指導の流れから考える～

講 師：津島市健康推進課
主任管理栄養士
佐藤 知子 先生

日 時：令和7年 **12月6日（土）** 14時～15時30分
開催方法：**オンライン開催** ※Zoom ウェビナー使用
対 象：海部医療圏の医療・介護関係者等 100名
申 込：【申込フォーム】
<https://forms.gle/gratYuKdrG78m288A>
締切：令和7年11月28日（金）まで

主 催：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）
後 援：海部医師会・津島市医師会
問合せ先：あまさぼ TEL：0567-58-5989



在宅での訪問栄養指導は実績も少なく、どのように管理栄養士に繋いでいけばいいのかわからないという声をケアマネジャーからいただき、今回の研修テーマにしました。

管理栄養士、ケアマネジャーのみならず、多くの職種の方にご参加いただきました。管理栄養士がどのように介入し何をしてくれるのか、在宅高齢者の栄養状況についてなどご講義いただき、アンケートでは、「管理栄養士の訪問依頼の仕方などが分かり良かった」「なかなか聞けない栄養のお話、大変参考になりました」とのご感想をいただきました。

Ⅱ-2. 令和7年度 講演会〔令和7年4月～12月〕

○地域住民普及啓発講演会

津島市医歯薬介連携推進協議会（あんしんネットつしま）と共催

日 時：令和7年11月22日（土） 14：00～16：00

場 所：津島市文化会館 大ホール

テーマ：落語で楽しく学ぶ「在宅医療と人生会議」

講 師：行政書士・社会人落語家 生島 清身（天神亭 きよ美）先生

参加者：228名



あんしんネットつしま地域連携フォーラム2025
令和7年度 在宅医療・介護連携推進事業 地域住民普及啓発講演会

参加無料

落語で楽しく学ぶ 「在宅医療と人生会議」

講師：生島 清身 氏
(天神亭 きよ美 行政書士、社会人落語家)

「死」は見方を変えたら「生ききる」こと
どこでどんなふうに「生ききりたいか」を
よく考え、家族や医療関係者に伝え話し合
うことで、自分らしく「生ききる」ことが
実現できたらいいですね

日 時：令和7年11月22日（土）14時～16時
会 場：津島市文化会館 大ホール （開場13時30分）
津島市藤浪町3丁目89番地10 (0567-24-1122)

対 象：どなたでもご参加いただけます
申 込：電話、FAXまたは二次元コードからお申込
電話 0567-58-5989
FAX 0567-58-4559（申込書は裏面）

申込期限 令和7年11月14日（金）

共 催：あんしんネットつしま（津島市医歯薬介連携推進協議会）
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまざぼ）
問合せ：あまざぼ ☎0567-58-5989



「死」は見方を変えたら「生ききる」こと、どこでどんなふうに「生ききりたいか」をよく考え、家族や医療従事者に伝え話し合う「人生会議」について落語を通じてお話いただきました。

講演会後のアンケートでは、「人生会議（ACP）をご存じでしたか」という設問で「知らなかった（講演会で知った）」の回答が59%でした。

ご意見・ご感想の中には、「重い話が落語による内容にて半分楽しく聞けました」、「エンディングノートを書きたい」といった前向きなご意見もあり、自分事としてとらえられた方が多く家族や大切な人に思いを繋いでいかれることと思います。

Ⅱ-3. 令和7年度 出張教室〔令和7年4月～12月〕

地域の団体に向けた出張教室を行いました。

ACPの取組や在宅医療・介護連携に関する普及啓発をすることで、あまさぽの活動を知っていただく機会にもなりました。

蟹江町

日 時：令和7年10月16日（木） 13：30～14：30

場 所：富吉コミュニティ会館

テーマ：「あなたの地域で認知症とともにいきいきと暮らす」

対 象：地域住民（富吉健康サロン「いきいき100歳塾」）

参加者：21名



本日のお話

あまさぽの紹介

認知症について知ろう

認知症予防体操をしてみよう

ACP(人生会議)してみませんか

津島市

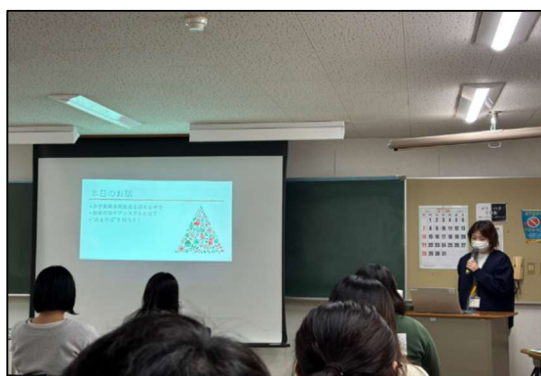
日 時：令和7年12月9日（火） 10：45～11：40

場 所：津島市立看護専門学校

講 座：「地域・在宅看護援助論Ⅰ」

対 象：看護学校学生（2年生）

参加者：25名



令和7年度 津島市立看護専門学校2年生

地域・在宅看護援助論Ⅰ

令和7年12月9日（火）
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター
（通称：あまさぽ）
コーディネーター 田中まどみ・大庭美華

在宅医療・介護連携支援センターとは？

在宅医療や介護サービスなど、関係機関の切れ目のない連携を実現するため、在宅医療・介護連携支援センターが設置されました。



Ⅱ-4. 令和7年度 地域行事参加〔令和7年4月～12月〕

市町村の地域行事に参加し、「心をつなぐノート(エンディングノート)」、あまさぽのチラシ、普及啓発グッズを配布するなど地域の方々に在宅医療・介護に対する普及啓発を行いました。

また、地域課題を把握するため、在宅療養や人生会議（ACP）等についてのアンケートを実施しました。

あま市 第9回あまのわ（市民活動祭2025）

日 時：令和7年10月18日（土） 10：00～15：00

場 所：あま市役所

愛西市 あいさいさん祭り2025

日 時：令和7年10月26日（日） 9：30～15：00

場 所：愛西市役所

飛島村 健康福祉祭

日 時：令和7年11月1日（土） 9：00～12：00

場 所：飛島村すこやかセンター



あま市役所



愛西市役所

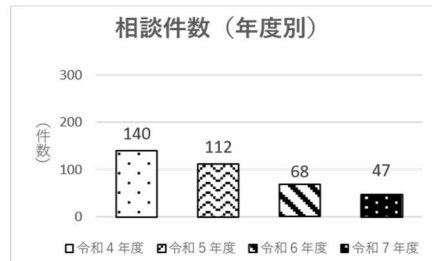
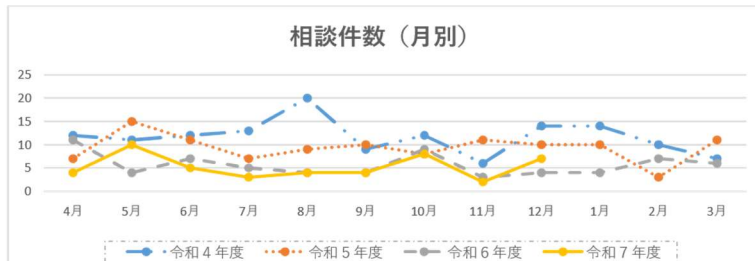


飛島村すこやかセンター

Ⅱ-5. 令和7年度 相談対応件数 ※令和7年12月31日時点

1. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	12	11	12	13	20	9	12	6	14	14	10	7	140
令和5年度	7	15	11	7	9	10	8	11	10	10	3	11	112
令和6年度	11	4	7	5	4	4	9	3	4	4	7	6	68
令和7年度	4	10	5	3	4	4	8	2	7				47



2. 相談方法

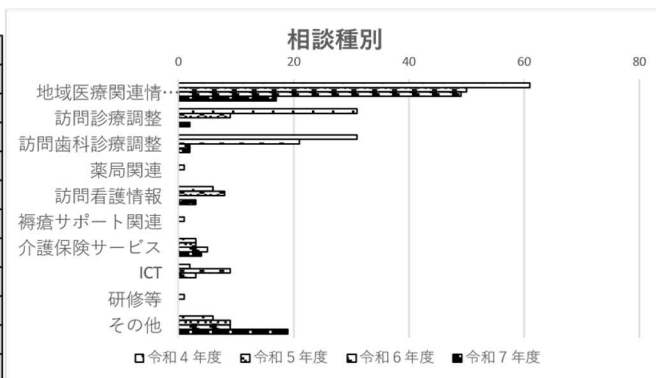
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
電話	128	101	53	40
来所・訪問	7	8	15	7
メール	0	0	0	0
FAX	5	2	0	0
電子@連絡帳	0	1	0	0
合計	140	112	68	47



3. 相談種別

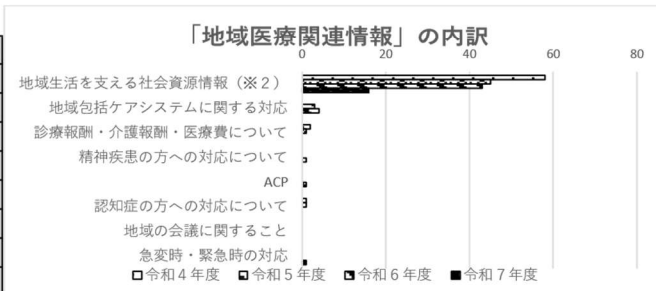
「相談種別」の内訳

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域医療関連情報（※1）	61	50	49	17
訪問診療調整	31	9	0	2
訪問歯科診療調整	31	21	2	2
薬局関連	0	1	0	0
訪問看護情報	6	8	0	3
褥瘡サポート関連	0	1	0	0
介護保険サービス	3	3	5	4
ICT	2	9	3	0
研修等	0	1	0	0
その他	6	9	9	19
合計	140	112	68	47



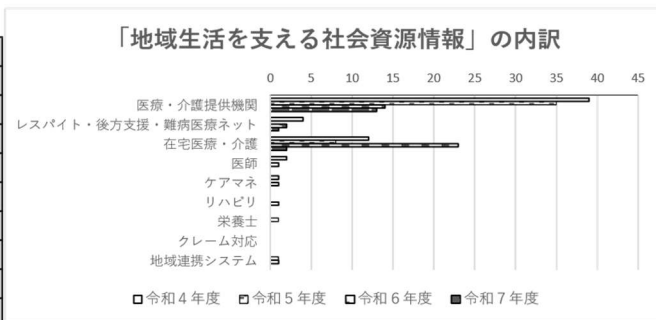
※1「地域医療関連情報」の内訳

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域生活を支える社会資源情報（※2）	58	45	43	16
地域包括ケアシステムに関する対応	0	3	4	0
診療報酬・介護報酬・医療費について	2	1	0	0
精神疾患の方への対応について	0	0	1	0
ACP	0	0	1	0
認知症の方への対応について	1	1	0	0
地域の会議に関すること	0	0	0	0
急変時・緊急時の対応	0	0	0	1



※2「地域生活を支える社会資源情報」の内訳

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
医療・介護提供機関	39	35	14	13
レスパイト・後方支援・難病医療ネット	4	0	2	1
在宅医療・介護	12	8	23	2
医師	2	0	1	0
ケアマネ	1	0	1	0
リハビリ	0	0	1	0
栄養士	0	1	0	0
クレーム対応	0	0	0	0
地域連携システム	0	1	1	0



Ⅲ. 今後の予定〔令和8年1月～3月〕

○地域包括ケア多職種合同研修会

愛知県看護協会海部地区支部、愛知県MSW協会海部ブロック、海部南部広域事務組合と共催

日 時：令和8年1月23日（金） 13：30～15：00

場 所：弥富市十四山支所2階 大会議室 後日オンデマンド配信

テーマ：「認知症基本法が見据える社会 ～専門職の私が取り組むこと～」

対 象：海部医療圏の医療・介護関係者

講 師：山口 喜樹 氏（名古屋市認知症相談支援センター 所長）

共催
愛知県看護協会 海部地区支部
愛知県医療ソーシャルワーカー協会 海部ブロック
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）
海部南部広域事務組合

地域包括ケア多職種研修会
認知症基本法が見据える社会
～専門職の私が取り組むこと～

講師 名古屋市認知症相談支援センター 山口 喜樹 所長

日時 2026年1月23日（金） 13:30～15:00

会場 弥富市十四山支所2階 大会議室

対象 海部医療圏の医療・看護・介護・福祉・行政関係者
事前申込のうえ、無料で参加いただけます

配信 講義動画の配信 1月27日（火）～2月23日（月）

目的
新しい認知症観に基づいて、認知症の人を支援していますか。
認知症基本法が2024年1月に施行されました。認知症の人が社会の
対等な構成員として、安全安心に自立した日常生活を送り、最良表明・
社会参加できるようにすることを目指しています。
医療・介護・福祉等の専門職は、認知症の人の意向を十分に尊重し、
より適切なサービスを提供しなければなりません。
愛知県・名古屋市の体制作り、全国への普及に貢献される第一人者を
招き、海部地域の多職種が一緒に学習することで、切れ目のない地域
支援体制作りの礎とします。

内容
・ 認知症基本法と新しい認知症観
・ 認知症の人の意思決定支援
・ これからの認知症ケア 他

裏面をご覧ください、申込締め切りまでに事前申し込みください。
受付窓口 あまさぼ（津島市神守町字五反田2番地 神守支所内）
Eメール amc.sp@clovernet.ne.jp TEL0567-58-5989

令和7年度 緩和ケア多職種連携研修会
「在宅医療における緩和ケア」


目的：生命を脅かす病気をかかえた方が、自分らしい暮らしを人生の
最期まで続けるためには、緩和ケアの知識が必要です。地域
の中での緩和のあり方を海部医療圏の医療・介護関係者の皆様で
一緒に学んでいきましょう。

日時
令和8年3月5日（木） 18時30分～20時

講師
野々垣 禪 先生 JA愛知厚生連海南病院 老年内科代表部長
『在宅医療における認知症・非がん疾患を含めた終末期ケア
～地域で共有したいACP実践について～』
今野 純七 先生 海南訪問看護ステーション 看護師
『地域における特定行為の普及とその価値について』

開催方法 参集（会場：海南病院 教育研修棟3階 講堂1）
及びZoomによるハイブリッド開催

対象者 海部医療圏の医療・介護関係者

申し込み 【URL】 <https://forms.gle/6Q9CTEv7aB9nBnSQa>
または
【二次元コード】 
【申し込み期限：2月27日（金）】
申し込み後、受付完了メールが届かない場合はあまさぼへお問い合わせください

共催 JA愛知厚生連海南病院、津島市民病院
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）
問い合わせ先：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）
電話番号：0567-58-5989
Eメール：amc.sp@clovernet.ne.jp

○緩和ケア多職種連携研修会

海南病院、津島市民病院と共催

日 時：令和8年3月5日（木） 18：30～20：00

場 所：海南病院 講堂1 + Zoom オンライン（ハイブリッド開催）

テーマ：「在宅医療における緩和ケア」

対 象：海部医療圏の医療・介護関係者

講 師：野々垣 禪 氏（海南病院 老年内科代表部長）

今野 純七 氏（海南訪問看護ステーション 看護師）

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（通称：あまさぽ）

住 所：〒496-0005

愛知県津島市神守町字五反田2番地（津島市役所神守支所内）

T E L：0567-58-5989

F A X：0567-58-4559

U R L：<https://amasapo.ama.or.jp>

M A I L：amc.sp@clovernet.ne.jp

開庁時間：平日8：30～17：15

